（申請書様式M2）

**重篤な遺伝性疾患を対象とした着床前遺伝学的検査に関する症例審査申請**

(1)着床前遺伝学的検査の対象となる疾患名．（疾患の原因となっている遺伝子変異，染色体異常などを含む）

(2)症例の概要（妊娠歴，流産歴，分娩歴，夫婦および家族歴（遺伝家系図），着床前遺伝学的検査を希望するに至った経緯，生まれてくる児の重篤性を示す臨床症状もしくは検査結果など）必要に応じて資料添付

①妊娠歴、流産歴、分娩歴

②夫婦および家族歴（遺伝家系図を記載）

③着床前遺伝学的検査を希望するに至った経緯

④生まれてくる児の重篤性を示す臨床症状もしくは検査結果

(3) 胚の遺伝子異常，染色体異常等の診断法．(直接法,間接法のそれぞれ)

（注）本法の実施にあたり，胚の生検サンプルを用いた診断法を適切に準備しておく必要がある．原則として，直接法・間接法の双方によるダブルセットアップを必須とし，審査の過程で準備状況の確認が必要と判断された場合には，診断法のセットアップ報告書の提出を追加で求められる場合がある．

(4) 自施設の常勤の臨床遺伝専門医による遺伝カウンセリングの実施者の情報

（実施した施設内遺伝カウンセリングの内容について添付して提出）

実施した臨床遺伝専門医

氏名：（　　　　　　　　　　）

(5) 検査前の第三者による遺伝カウンセリングの実施者の情報．（実施した臨床遺伝専門医からの説明内容の報告書、臨床遺伝専門医の認定証の写しを添付して提出）

実施した臨床遺伝専門医

所属：（　　　　　　　　　　　）氏名：（　　　　　　　　　　）